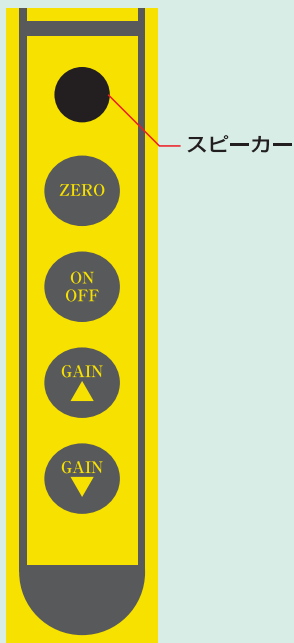


## < キー操作 機能 >



スピーカー

### ZERO < 磁気校正 >

周辺磁場が過多な時に使用します。周辺に金属物がない状態で1秒間押しとバーグラフがリセットされます（校正時間は現場状況によって異なります）。通常探査では使用しなくても問題ありません。

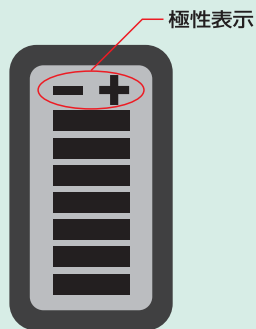
### ON/OFF < 電源スイッチ >

このボタンを押す事により電源のON/OFFができます。

### GAIN < 感度調整 >

"▲" を押しと感度が上がり、"▼" を押しと感度が下がります。

## < 液晶ディスプレイ >



極性表示

### < 信号強度と極性 >

"信号強度" と "極性" は対極バーグラフで表示されます。最初はバー中央に短く表示され、信号が強くなるとバーの数が増えて表示されます。"極性" は発生磁界が "N極+側" または "S極-側" のどちら側にあるかによりバーが表示されます。

### < 感 度 >

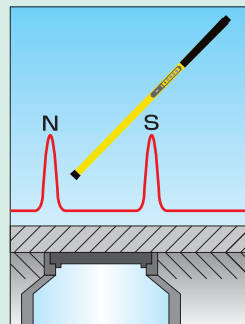
"▲" または "▼" で感度調整を行い、レベルに応じてバー表示が変化します。

### < バッテリー表示 >

電池交換時期が近づくとき液晶ディスプレイ全体が "点滅" 表示されます。

### < "極性探知機能" の活用 >

"極性探知機能" により、フェンスに近接して埋設したマーカーや "鉄管パイプ接合部" を探知する事ができます。マーカー上または鉄管パイプ接合部（溶接でも可）の上を移動する事により位置が探知できます。



### 極性の判別

極性 (N極+側・S極-側) の判別ができるので埋設している金属物体の大きさの探知が可能です。

### < 探知方法 >

GA-3S本体を手前に持ち、前後に揺らしながらゆっくり歩きます。探査物が小型のもの、或いは深く埋設されている場合は感度を上げ、できるだけゆっくり歩くようにします。通常は感度を中間レベル (バー目盛が3個表示) に設定し普通の歩き方で探査可能です。腕時計、大型の金属ベルトバックルまたは金属製の靴底等を着用し、感度を上げすぎると探査性能に影響が出ます。

### < 操作方法 >

1. ON/OFFボタンを押し、電源を入れます。
2. "▲" または "▼" で感度調整を行うと、レベルに応じバー表示が変化します。ボタンを一回押す事によりバーが1目盛変化します。

### < 機 能 >

- キーパッドは "クリックタイプ" を採用しており、ボタン操作が確実に行えます。

- 内蔵マイクロプロセッサが感度の設定を記憶する為、電源を切って再び電源を入れた時は最終の設定状態で探査を開始できます。
- 感度設定は7段階で設定できますが、通常のバー目盛が3個表示される設定から探査を開始します。また、目的物の大きさまたは深度に応じ設定を変えて下さい。

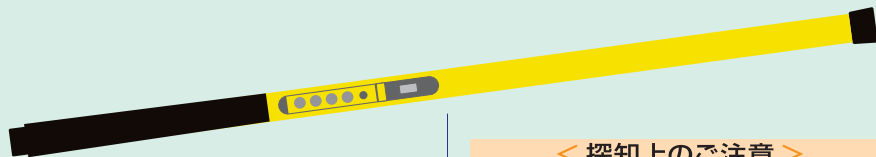
### < 使用電池 >

持ち手部分底部のネジを外します。"9-Vアルカリ電池" が3本使用されています。操作ができなくなったり、ディスプレイが "点滅" するようになった場合は新しい電池と交換して下さい。

### < ピンポイント探知 >

下記の手順で目的物の埋設位置を正確に探知できます。

1. 目的物の "磁性体" に近づくと、音が変わると同時にバーグラフも信号強度に応じて変化し、大体の位置が把握できます。この状態で感度を最小レベルに設定します。
2. GA-3S本体の持ち手部分を持ち、操作者が上下に振る事ができる位置に本体を持ってきます。
3. 目的物の上を "Xパターン" 状を描くように、前後に本体を移動させます。
4. 信号強度が最大になる位置で、上記 "Xパターン" を横切るように本体を移動させます。



**注意** 本器を埋設及び埋設金属物の探査以外に使用しないで下さい。



**注意** 本器を使用する場合は周囲の交通状況等に注意して下さい。



**注意** 本器は耐衝撃構造ではありません。故障の原因となりますので強い衝撃を与えないで下さい。



**注意** 本器には棒状のセンサーチューブが付いています。大きく振り回して人に当たりますと思わぬ怪我をする場合があります。

## < 取扱い上のご注意 >

1. センサーチューブ部に金属製のシールやネームプレート等を貼付しないで下さい。
2. 本器を高温の場所に長時間置かないで下さい。
3. 新品の電池と消耗している電池を混合して本器に使用しないで下さい。
4. 本器に無理な力を加える状態では使用しないで下さい。

## < 探知上のご注意 >

1. 磁化されていない金属(金、銀、銅、アルミニウム、ステンレス等)は探知できません。但し、予め永久磁石等の磁気物を対象物に付着しておけば探知できます。
2. 送電線の下では磁界が乱れている為、正常な探知操作はできません。
3. 電話・電力等のケーブルは探知できません。
4. 本体を振り回すように使用するとセンサーの磁界バランスが崩れ、探知物を誤認する場合があります。
5. 積雪の中に本体を差し込む場合、凍結等で固まっているような状態の場合は差し込まないで下さい。
6. 磁気校正時、ディスプレイ表示が薄くなる場合がありますが、校正処理に伴う現象ですので問題ございません。校正が終了すると元に戻ります。

## < 保管上のご注意 >

1. 高温、多湿の場所には保管しないで下さい。
2. 使用しない時は乾電池を外して下さい。  
長時間取り付けたままにしておきますと、液漏れして機器を破損する場合があります。

## < 電池交換 >

持ち手部分底部のネジを外します。  
"9-V アルカリ電池" を3本使用します。操作が停止したり液晶表示全体が点滅した場合は電源を直ちに切り、新しい電池と交換して下さい。必ず**3本まとめて**新しい電池と交換し、1本のみの交換はしないようにして下さい。交換時はバッテリーケースに刻印されている〈+〉〈-〉の表示を確認し、極性を間違えないようにして下さい。

**※必ずアルカリ乾電池をご使用下さい。**

## < 仕様 >

探知深度	探知物の磁化された度合による
使用時間	断続使用で40時間
動作温度	-25~60℃
電 源	006P(9V)×(アルカリ電池)3本
寸 法	φ40.5×1016(L)mm
重 量	800g
付 属 物	収納ケース・取扱説明書

## < 保証期間 >

「保証書」はお買い上げ日より1年間です。保証期間内に機器の機能上に不具合を生じた場合は無償にて修理させていただきます。

保証期間外、或いはお客様の原因により破損故障した場合は有償にて修理させていただきます。その他不具合がありましたら、弊社営業所にご連絡下さい。

「保証書」は製造上の欠陥による故障の場合無償修理させていただきますので紛失しないよう大切に保存して下さい。ただし、次のような場合には保証期間でも有料修理となります。

1. お取り扱いの不注意及び誤ったご使用による故障
2. 不当な修理や改造をされた場合
3. 落下などによる故障及び損傷
4. 天災地変による故障及び損傷
5. 保証書のご提示がない場合



管路システムのサポートメーカー

**フジテコム株式会社**

ISO 9001 認証取得 (QM4215)

<http://www.fujitecom.co.jp/>

本 社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町二丁目20番地  
TEL (03)3862-3196 / FAX (03)3866-1979

札 幌 TEL (011)864-9511 / FAX (011)864-9507  
北日本 TEL (022)222-2011 / FAX (022)261-2497  
東 京 TEL (03)3865-2960 / FAX (03)3865-2964  
信 越 TEL (026)232-3521 / FAX (026)232-2197  
中 部 TEL (052)933-4891 / FAX (052)933-4894  
大 阪 TEL (06)6362-6755 / FAX (06)6362-6759  
広 島 TEL (082)261-0939 / FAX (082)261-0948  
九 州 TEL (092)474-3225 / FAX (092)474-3894

計装システムチーム  
TEL (048)482-8777 / FAX (048)477-4724  
技術開発・トレーニングセンター  
TEL (048)479-0581 / FAX (048)479-0584